

令和4年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年3月16日(木) 15:00~16:30

2 場 所 高知県立宿毛工業高等学校 会議室

3 参加者

(1) 協議会委員

武政 登:(大方あかつき館・館長(宿毛工業同窓会長)) 上岡 千夏:(宿毛工業 PTA 会長)

安岡 未佳:(宿毛工業 PTA 役員) 大塚 猛:(宿毛工業 PTA 役員) **当日欠席**

八木 渚:(宿毛工業スクールカウンセラー) **当日欠席** 中福 智子:宿毛市役所 企画課

北峯 和永:(宿毛市立東中学校・教諭) 兼松 尚子:(四万十市立中村西中学校・教頭)

久保 康次:宿毛市青年会議所・理事長**当日欠席**

(2) 宿毛工業高校教職員

中野 達也(校長) 西山 太彩(教頭) 岡本 真紀(事務長)

森 裕嗣(教務部長) 小橋 竜二(生徒指導部長) 畠中 晶代(進路指導部長)

池内 孝栄(生徒サポート部長) 山崎 桂(総務部長)

吉岡 利泰(総務部・議事録) 筒井 尚樹(総務部・議事録)

4 次第及び記録

(1) 【開会】(西山教頭):開会宣言、議事録用録音の許可を問う、配布資料確認

(2) 【校長挨拶】(中野校長):本日の議事について簡単に説明。本校の今年度の様子を説明。

(3) 【自己紹介】(西山教頭):前回から日が空き、前回参加されなかった方もいるので自己紹介

武政(同窓会長)・兼松(中村西中教諭)・北峯(東中教諭)・安岡(PTA 役員)・中福(宿毛市企画課)・上岡(PTA 会長)・中野(学校長)・岡本(事務長)・池内(生徒サポート部長)・畠中(進路指導部長)・小橋(生徒指導部長)・森(教務部長)・山崎(総務部長)・吉岡(総務部)・筒井(総務部)・西山(教頭)の順で自己紹介

(4) 【議事:一部抜粋】司会進行は武政会長

ア 令和4年度 学校評価アンケートについて(説明:西山教頭)

開かれた学校づくりの取り組みの一つとして平成14年よりスタートした学校評価アンケートであるが、これまではマークシートによる用紙記入アンケートで行ってきたが、今年度より生徒には一人1台タブレットも整備されているので、Web形式によるアンケート入力方式を取った。すると、前年度までの主任が把握し促せていた時よりも回答率が下がってしまった。回答率が低いとアンケート結果の信憑性が下がるので、回答率向上が課題である。

アンケート結果について各データの集計表記について説明。まとめとして、前年度までの評価項目を「学校運営」「生徒指導」「進路指導」「教科指導」「人権教育」「特別活動」「交通安全」

の7項目から、「学校運営」「生徒指導」「進路指導」「人権教育」「特別活動」「教育重点目標：①基礎学力の定着と家庭学習の習慣、②資格取得の推進、③交通安全教育」の6項目に再編した。

結果の表現方法としては、肯定的な意見の回答率を%として数字で見た時に前年度の同じ質問に対する回答率と比べて、上昇・下降したかどうかを判断基準として表記している。全体としては前年度に比べ、生徒の肯定的回答は3ポイントのプラス、保護者は5.6ポイントのマイナス、教員は0.9ポイントのマイナスとなっている。

各項目についてもそれぞれ同様に生徒・保護者・教員の前年度比を目安に結果を考察したことを説明。

イ 令和4年度 学校経営計画・学校評価について（説明：中野校長）

第1回場で学校経営計画については説明をさせていただいた。今回はそれに対しての学校評価について説明する。

《学校関係者評価》

「学力の向上」「社会性の育成」「チーム学校」の3観点を、先ほどの学校評価アンケート結果より考察し表記している。

《重点項目》

「学力向上」については「基礎力診断テスト」にて数値目標を掲げたが未達成。「欠点保有者数」も未達成。「成績優秀者数」は達成。「平日の授業以外で学習しない生徒の割合」未達成。

「学校評価アンケートの肯定的な回答」は達成。改善点については継続するものや新しい取組を含めて明記している。

「社会性の育成」については、「遅刻数」「出席率」は達成。「部活動加入率」については未達成。「進路希望決定者の割合」は達成。「県のオリジナルアンケート問 23,25,27 の肯定意見」は達成。改善点について、生活習慣や学校へ登校すること等支援の必要な生徒もいるのでSCやSSWの力を借りて進めていきたい。ボランティアや発表会等の参加もコミュニケーションの高める場となるので積極的にやっていきたい。

《チーム学校》

「授業改善」はアンケートの評価目標も達成しており、教職員も積極的にICT機器を活用した授業に力を入れている。今後は更にタブレットを活用したソフトウェアの利活用を研究する。

「生徒理解・生徒支援」は中途退学者、休学者は0であるが、学校評価アンケートの評価目標は未達成。年間を通して落ち着いている状態ではあるが、生徒支援委員会等での情報共有の強化拡大を図る。

「学校の振興」は卒業時の進路決定率は未達成となったが、これは受験希望先が卒業後受験するようになっていた1名の生徒によるものであり、実質は達成といえる。公務員にも12名が決定した。資格取得も合格率も7割を超えている。

「産業教育の充実」は卒業時の進路決定率・国家資格の取得率は未達成。学校PR活動では中

村西中学校とリモートでの体験学習を実施することができた。継続して国家資格試験に挑戦し、今年度コロナで開催できなかったオープンスクールを次年度は開催したい。

「働き方改革」は未達成の部分がある。どうしても資格や発表会、部活動の大会などの繁忙期があるので難しいところがある。教員の体を休めてもらうために、長期休みには閉校日等を設けて休暇を取得してもらえるようにしている。

ウ スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて（説明：中野校長）

地域からどのような期待・要望があつて、学校はその要望を受けてどのような魅力を持った教育を行っているかが一目でわかる資料をつくるというもの。これまでにあったハイスクールガイドのような学校発信のアピール文書と違い、高知県や各地域から求められている「スクール・ミッション」を設定し、そのミッション達成のために「スクール・ポリシー」として〈グラデュエーション・ポリシー〉〈カリキュラム・ポリシー〉〈アドミッション・ポリシー〉を策定していく予定である。策定については、学校経営計画や学校評価の内容を盛りこみながら、委員の皆様にも今後、ご意見を伺いながら7月を目途に策定していきたいと思っておりますので協力をよろしくお願いいたします。

エ 質疑応答（司会：武政会長）

【委員】 県のオリジナルアンケートの中で問 23, 25 は全体として肯定的と判断されているが、1・3年生は県平均と比較して肯定的だが、2年生は県平均より低い数値であるがどうとらえているか？

また、学校評価に記載のある働き方改革についての項目では、R3年度よりもR4年度の方が悪化しているように見えるがどうか？

【学校】 2年生については1年次にコロナの影響で行事がほとんど無く、生徒同士のコミュニケーションを取れないまま2年生となり、R4年度には少ないながらも少しずつ戻ってきた初めてばかりの行事に、学校の主体となったことの不安が出たのではないかと。教員の勤務時間も同様にコロナの影響で行事の無かったR3年度に比べて今年度は少し行事に取り組む機会があると勤務時間に影響したと推測される。

【委員】 アンケートをタブレットによるWeb形式としてから回答率が下がったとあるが、本校も「あんしんメール」の利用を始め、会のアンケートをQRにすると下がるということは起こっており、紙に戻すか？という議論もされている。高校ではどう考えているか。生徒への伝達、手紙についてもデータでしょうか？

【学校】 なかなか難しい結果ではあるが、今後の時代の流れを考へてもタブレットやスマートフォンも普及しているので、来年度も継続してこの形でやってみようとは思っている。紙の集計作業が教員の負担が大きい面があり、なんとか集計作業の簡単なこのシステムで回答率の上がる効果的な方向性を見つけたい。

【学校】 今回のシステムでは匿名すぎな部分がある。誰がどのように解答したかは不要で、誰が回答済みであるか判断できるシステムを構築したい。学校現場では教員向けのアンケートは未回答者のみ督促されるシステムがあるので、保護者や外部の方にもそのように未

回答者のみ督促できるようなシステムにできないか検討している。

生徒との連絡手段のデータ化はまだ行っていないが、緊急の連絡については保護者との連絡手段となっている「すぐーる」という連絡システムで伝達している。

【委員】システムについてはわからないが、入力している途中でやめても続きから入力できるものだろうか？忙しくても合間合間でできるようなものであればやりやすいと思う。一度離れると、最初からやり直しとなるアンケートはやりにくい。

【学校】今のアンケートも、おそらく途中で大丈夫だと思います。

【委員】もしかしたら、解答送信完了がわかってない人もいるかもしれない。回答が完了したら色が変わる等、工夫があると保護者も安心かもしれません。自分の回答が送れているのかどうか不安になる。

【学校】システムの事なので確認してみます。おそらく入力期限内であれば、回答後でも再度訂正入力できるようになっていると思いますが、不安が解消できるように確認し改善することがあればまた検討してみます。システム化していることで用紙記入式のアンケートよりも誤回答は防げるメリットもあるので、システムづくりを改善していきます。

【委員】保護者からの話では、アンケート答えようとする「わからない」「わからない」と繰り返し答えることになっていくことが続くと、答えるのも嫌になって止めた。という話を聞きました。解答しやすくすることも考える必要があると思います。

【学校】アンケートの意義の周知、回答しやすい質問文に気を付けます。この会の内容等も個人情報に配慮した上で保護者には公表するようになっていきます。アンケートも含め、フィードバックすることで保護者の学校への理解を進めることで回答しやすくなるように努力します。

【学校】中学校では、保護者へのお知らせは紙ですか？

【委員】東中は紙です。

【委員】西中は紙とホームページ、あんしんメールの併用。不審者情報等緊急連絡もあるのでタイムリーなあんしんメールも利用している。保護者が困らないように配慮しつつ、今後は紙を無くしていく方向ではあります。

【学校】中学校の部活動の地域移行はどこまで進んでいますか。

【委員】まだほぼ進んでいません。地域移行していく方向はそのようですが、現在はいくつかの部活に外部コーチがあるくらいです。自分が担当するソフトテニスの幡多郡他校に聞いてみてもどの学校も同じようです。

【委員】西中も同様に、いくつかの部活に外部コーチが入っているくらいです。

【委員】学校評価の「社会性の育成」のところで「各事業を通して、コミュニケーション能力の育成ができた」との評価がされているが、我々の職場でもメンタル面のことが問題となっている。新しく入った職員がせっかくの能力を持っているが、コミュニケーション能力が難しい方が辞めてしまっている。本人も頑張りたいけど頑張れなくなり、通院したのち働

くことが苦痛となり結局退職する例がみられる。

現代の職場で働くことは、このあたりの難しさもあると思うが、卒業後の生徒個人のこと
で難しいかもしれませんが、宿毛工業の卒業生は就職してからその面でしっかりできて
いる。というような、継続した追跡調査ができていれば、それもまた学校の魅力として PR
になるのかもしれない。

【学校】確かに中学時にその面で苦勞された生徒も本校には入学している。環境が変わると上手
くいく例もみられる。例えば中学校でなかなか登校できなかった生徒が本校では皆勤賞
を取るなどもある。また、やはり高校に入っても難しい状態の生徒さんも実際いる。
本校を卒業して就職したが早めに辞める生徒さんももちろん居ますが、理由は職場の方
との折り合いが合わず、とか勤務条件が思ったのと違ったという話は聞くが、精神的に病
んでしまって家から出られないといった話は今のところ、私のほうでは聞いていない。

【学校】県の就職対策連絡協議会の方で卒業後1年間の追跡調査は行っている。また、地域ごと
に社会で困るようなことのないような心構えやビジネスマナー講座なども開催されて対
策はされている。

【委員】アンケートの問 20 は県平均より低く、問 21 も低い数値であることから、生徒の社会
貢献にむけた意欲および喜びの実感が伸びていないのかなと感じる。そうした地域と関
わるボランティアのような機会が増えることで、社会貢献の喜びを感じられて、先ほどの
コミュニケーションの面でも良い影響が与えられるのではないかと思う。

【学校】これは懸念しているところです。これもやはりコロナの関係で、あらゆる行事が行え
ず実際地域と関わる機会が少なかった。次年度以降、従来行ってきたようなボランティア
や地域貢献活動ができれば増えると期待している。

【委員】問 3、問 4 のように自分以外の世界、世の中に興味を持っていない。自分から外への世
界を広げれていないという風にも見えます。テレビ・ラジオということなので低く、子供
たちを見ても YouTube など情報で得ているのかなとも思います。

【学校】その下の問 5 ように携帯電話スマートフォンの使用時間が長いので、だいたい使用する
のは夜だと思われませんが、夜遅いと翌日に影響があるので、そのあたりが難しいところだ
と思います。

【委員】昔に比べると今の子供たちは至れり尽くせりに感じる。しかし、私も自分の子供が高校
に入り保護者の立場となった際にはいろいろと心配でした。学校側も大変だとは思いま
すが、子供たち本人も不安な面があると思いますので、このような協議会の結果からまた
いろいろなことに挑戦していただきたいと思います。私は開かれた学校づくりも好きだ
ったんですが。

【学校】私自身もこの会の中でいろいろな意見を頂けて、やはり灯台下暗しの部分があるので、
とてもありがたい。貴重な意見がこの会でたくさんいただけるのでありがたく参考にさ
せて頂きます。

【委員】開かれた学校づくりから参加させてもらったが、あの会は良かった。図書館に来る子供でみると、高校生は来るけどお話ししてくれない。小学生は話を聞いてくれます。開かれた学校づくりでは高校生と直接話が出来て、生の声が聞けたのでその面は良かった。

【委員】地域からの宿毛工業の話も聞ける開かれた学校づくりは、私も良かったように思います。

オ その他

【委員】我々もいろいろな評議会・委員会等は開催するが、だいたい1週間前には事前に委員さんには資料を送って目を通してもらっている。今回も割とボリュームの多い内容だったので、次回以降はぜひそのようにしていただけるとありがたいです。

【学校】貴重なご意見です。ありがとうございます。そのようにいたします。

【委員】次回は、8月に開催予定です。

【学校】最後に、今回の前期入試では前年度に比べ、生徒数が20名程減りました。本校ももちろん努力する所ですが、委員の皆様方にも令和6年度以降の生徒数確保の為に、ぜひ宣伝広報にご協力いただけるとありがたく思います。

【閉会】(武政会長)：閉会を宣言